



珍島銘品館



杯。和やかなうちに1時間が過ぎ夕食会を閉じ1日目が終わった。



珍島郡庁前で記念撮影

翌日、ホテル向かいの食堂でお粥をすすった後、珍島銘品館を視察する。黒米、ネギ、ウコン、海苔、紅酒など、多くの特産品が展示販売されていた。その後、珍島郡庁を表敬訪問、張榮泰議会議長を先に訪ね、お土産を贈った後、両町の概要説明、意見交換が行われた。張議長から韓国では離島に対する助成制度が日本より薄く、苦勞しているが、



張議会議長と懇談

農水産物に恵まれ、農漁業を基盤に観光にも力を注いでいるとの説明があり、昨年度からスタートした八峰町との友好交流に期待しているとの発言もあった。会談後、議場を見学、豪華な議長席と傍聴席に目を奪われた。
続いて郡守室を訪ね、郡守からは本町訪問時の御礼と午後から開催される神秘の海割れ祭りの説明があり、町長からは珍島招聘に対する御礼



議長席(左)と傍聴席(右)



と、相互関係樹立意向書に基づくと、相互関係樹立意向書に基づくと交流促進についての発言があった。

研修レポート

珍島探訪

報告者 議長 須藤 正人



韓国地図

4月25日早朝5時、町長を団長とする議員3名(議長、副議長、産業建設常任委員会委員長)と産業振興課長、全5名の一行が八峰町を出発する。羽田空港で日本白神水産(株)の菅原社長と柿澤専務が合流、同じく珍島郡から招聘を受けていた日本活魚(株)の須藤営業部長、金井仕入部長、李課長も同行する。日本活魚(株)は水産物の輸入業者で、日本白神水産(株)に韓国産アワビを提供している。金井部長と李課長は韓国



韓国新幹線KTX(左)とソウル駅(右)



語が堪能であり、視察中の通訳をお願いした。
11時30分、羽田から金浦空港まで2時間半、金浦からは、現地旅行社が手配した車でソ



木浦駅

ウル駅に行き、韓国新幹線KTX(新幹線「こまち」で秋田駅へ盛岡駅間のスピード)に乗車し、3時間半かけて木浦駅に着く。出迎えてくれた珍島郡職員の車で午後9時半過ぎにようやく珍島に到着した。遅い時間にもかかわらず、郡守、議長が笑顔で迎えてくれる。夕食会のテーブルには、韓国料理はもちろん、焼魚や刺身までもが並ぶ。地酒紅酒(ブランド名ルビコン:ルビコン)と生命体ユニコン)で乾